

会計システム専門監査人部会 活動報告

システム監査学会
会計システム専門監査人部会

2009年 6月 12日



All Rights Reserved, Copyright Japan Society for System Audits 2009

発表

報告1 Aグループ

「会計システム専門監査人のためのIT内部統制 監査実施ガイドの検討」

NECネクサソリューションズ(株) 吉川 明人

報告2 Bグループ

「SAP ERP IT全般統制監査チェックリスト」

アビームコンサルティング(株) 志村 政一

会計システム専門監査人のための I T 内部統制監査実施ガイドの検討

Guide of audit the IT internal control
for Certified Master Auditor for Accounting System

システム監査学会
会計システム専門監査人部会
Aグループ

2009年 6月 12日



All Rights Reserved, Copyright Japan Society for System Audits 2009

目次

- 発表要旨
- 2008年度研究会参加メンバ
- 検討の視点
- 検討結果
 - 会計システム専門監査人が行うIT内部統制監査の種類
 - 会計システム専門監査人のビジネスモデル(前期検討結果)
 - IT内部統制監査の手順
 - 「会計システム専門監査人のためのIT内部統制監査実施ガイド」の目次
 - 作成状況
 - 作成に当たっての課題・反省
- 今後の活動

発表要旨

J-SOX法によって、企業の財務報告に係る内部統制についての経営者による評価や公認会計士による評価が義務付けられている。

会計システム専門監査人は、経営者又は公認会計士からの依頼に基づき、これらの評価作業(監査)を支援することが重要な業務である。

しかし、この業務の作業レベルについては明確にはなっていなかった。そこで部会のAグループでは、IT内部統制監査支援を行う場合の実施手順例や評価の指針などを「**会計システム専門監査人のためのIT内部統制監査実施ガイド**」として纏めるべく、検討し、2008年度は暫定版を作成した。

本発表では、ガイド作成の検討内容・作業状況・今後の作業について報告を行う。

部会 Aグループ 2008年度研究会参加メンバー

Aグループリーダー サブリーダー メンバー	植野 俊雄	(ISU)
	田口 寧	(アイ・ティー・シー)
	吉川 明人	(NECネクサソリューションズ)
	(発表者)	
	高坂 拓也	(三井情報)
	太田 美喜夫	
	藤原 徹哉	(ビジネスプレイン太田昭和)
	竹下 和孝	(んじゃろ監査事務所)
	宮本 和靖	(情報マネジメント研究所)
	矢島 利夫	(NTTソフトウェア)
	仙波 信也	(優成監査法人)
	加藤 篤	(愛知県信用保証協会)
	平塚 康哲	(ヒラツカコンサルティング)
	丁野 真彦	(りそな総合研究所)
日高 祐子	(シーエーシー)	
清水 訓該	(TDK)	
杉田 伊久夫	(本田技研工業)	

(順不同・敬称略)

1. 検討の視点

「会計システム専門監査人のための IT内部統制監査実施ガイド」の検討

<目的>

会計システム専門監査人が、IT内部統制監査の支援を行う場合の実施手順について例示し、評価の指針を示すことによって、会計システム専門監査人による監査業務内容を明確にし、業務の質の向上と、依頼者からの信頼を確保する。

<検討項目>

- 会計システム専門監査人のビジネスモデル(前期実施)
- 会計システム専門監査人が行うIT内部統制監査の種類
- IT内部統制監査の手順
- IT内部統制の監査方法と評価の指針
- 監査チェックリスト例 等

2. 検討結果

2.1 会計システム専門監査人のビジネスモデル(前期検討結果)

論点

➤ 会計システム専門監査人制度を活用して、どのようなビジネスができるのか。

検討ポイント

ビジネスとして参画可能な会計システム監査関連分野の整理

分類		監査内容		備考
		会計システム監査	内部統制監査	
内部監査	第一者監査	○	○	組織内部のための、内部または外部の監査人による監査
外部監査	第二者監査	○	○	発注主のための、発注主が選定した監査人による外部監査
	第三者監査	△	△	外部の監査人による外部監査
コンサルティング	—	○	○	コンサルタントによるシステム評価

備考 ○:参画可能 △:会計監査人による監査の支援として参画可能

検討結果

➤ システム監査学会会員の立場ではなく、個人の立場でビジネス展開する。

2. 検討結果

2.2 会計システム専門監査人が行うIT内部統制監査の種類

「会計システム専門監査人のためのIT内部統制監査実施ガイド」には以下における監査活動に絞って記載することにした。

① 公認会計士の内部統制評価の支援

公認会計士からの依頼で、公認会計士が行うクライアント事業者の財務報告の信頼性に係る内部統制監査の内、IT統制の監査を、IT専門家の立場から支援する場合

② 経営者評価の支援

事業者からの依頼で、経営者による財務報告の信頼性に係る内部統制の評価に必要なIT統制の部分の評価(内部監査等)を、会計システム監査の専門家の立場から支援する場合

2. 検討結果

2.3 IT内部統制監査の手順

■ IT統制の整備状況の監査手順

- IT統制整備状況監査の目的の確認
- 依頼者との事前調整
- 整備状況監査の監査計画書の作成
- IT全般統制の整備状況監査
- IT業務処理統制の整備状況監査

■ IT統制の運用状況の監査手順

- IT統制運用状況監査の目的の確認
- 依頼者との事前調整
- 運用状況監査の監査計画書の作成
- IT全般統制の運用状況監査
- IT業務処理統制の運用状況監査

2. 検討結果

2.4 「会計システム専門監査人のためのIT内部統制監査実施ガイド」の目次

1. はじめに

- 1.1 本ガイドの目的
- 1.2 本ガイドの適用範囲

2. 会計システム専門監査人とは

- 2.1 会計システム専門監査人への期待
- 2.2 会計システム専門監査人の専門性
- 2.3 会計システム専門監査人の人物像
- 2.4 会計システム専門監査人の業務内容
- 2.5 会計システム専門監査人の専門性の要求水準

3. 会計システム専門監査人の活動

- 3.1 活動の概要
- 3.2 構築支援活動の進め方
- 3.2 経営者による評価支援活動の進め方
- 3.3 会計士監査の補助活動の進め方

(続く)

2. 検討結果

2.4 「会計システム専門監査人のためのIT内部統制監査実施ガイド」の目次

(続く)

4. IT統制

- 4.1 内部統制
- 4.2 IT業務処理統制
- 4.3 IT全般統制及びIT全社的統制
- 4.4 経営者による内部統制の評価
- 4.5 会計監査人による内部統制の評価

5. IT統制整備状況監査の手順

- 5.1 IT統制整備状況監査の目的の確認
- 5.2 依頼者との事前調整
- 5.3 整備状況監査の監査計画書の作成
- 5.4 IT全般統制の整備状況の監査
- 5.5 IT業務処理統制の整備状況の監査

(続く)

2. 検討結果

2.4 「会計システム専門監査人のためのIT内部統制監査実施ガイド」の目次

(続き)

6. IT統制運用状況監査の手順

- 6.1 IT統制運用状況監査の目的の確認
- 6.2 依頼者との事前調整
- 6.3 運用状況監査の監査計画書の作成
- 6.4 IT全般統制の運用状況監査
- 6.5 IT業務処理統制の運用状況監査

7. 監査項目及び評価手続き例

- 7.1 整備状況の評価
- 7.2 運用状況の評価

2. 検討結果

2.5 作成状況

■ 2008年度：暫定版作成

1～6章：執筆完（別途ブラッシュアップ要）

7章：未完

2. 検討結果

2.6 作成に当たっての課題・反省

■ 評価の視点

執筆者によって、「公認会計士による評価」、「経営者による評価」どちらの視点に重きを置くかバラツキが出てしまった。

⇒今後、視点の整理を行う必要がある。

■ IT業務処理統制の取り扱い

いわゆる業務処理統制評価の一環として実施されることが想定され、作業の切り分け(分担)を明確にすることが困難であった。

3. 今後の活動

- I T 内部統制の監査方法と評価の指針の充実
- 7章「監査項目及び評価手続き例」の作成
- 監査実施ガイドの試用によるフィードバック

SAP ERP IT全般統制監査チェックリスト

SAP ERP ITGC Audit Check List

システム監査学会
会計システム専門監査人部会
Bグループ

2009年 6月 12日

JSSA

All Rights Reserved, Copyright Japan Society for System Audits 2009

発表要旨

2008年度、Bグループは上場企業の多くが導入／運用しているSAP ERPシステムに的を絞り、システムの特徴を踏まえたIT全般統制の研究を行なった。成果物として「SAP ERP IT全般統制チェックリスト」等を作成した。また、メンバーの一人が監査法人から依頼を受け、このチェックリストを使いSAP ERP導入企業のIT全般統制予備監査を実施した。

これらの成果を踏まえ、次の内容を報告する。

- チェックリスト等作成経過
- チェックリスト等の内容と利用方法
- 今年度の研究課題

Bグループ 参加メンバ

今回発表する資料の作成に携わったメンバーは次の通り。

発表者 志村 政一 アビームコンサルティング(株) ディレクター
植野 俊雄 ISU 代表
切山 裕明 本田技研工業(株)
日下部 公 NECネクサソリューションズ(株) コンサルティング部
黒田 康博 黒田ITC事務所 代表
後藤 知久 合同会社兵法マネジメント塾 代表社員
平塚 康哲 (株)ヒラツカコンサルティング エグゼクティブ・コンサルタント

アドバイザー 清水 恵子 新日本監査法人 ITソリューション室長

(順不同・敬称略)

1. 活動の背景

<活動の背景>

- ① 日本においても多くの上場企業がSAP社のERPシステムを導入して基幹業務を処理している。
- ② 従って、監査人がSAP ERP導入企業の監査を行う機会が多い。
- ③ ERPシステムには手作りシステムとは異なる統制上の特性がある。
- ④ 監査人はこの特性を踏まえて監査を実施する必要がある。
- ⑤ しかしながら、各監査人がSAP ERPの統制機能について調査／研究して監査活動に望むことは難しい状況にある。

Bグループでは、監査人がSAP ERPの特性を踏まえ、有効かつ効率的なIT全般統制監査を実施できるよう「SAP ERP IT全版統制チェックリスト」等を作成した。

2. 経過報告

<活動経過>

- ① 2008年 8月 : 青山学院大学にてSAP ERP 全般統制機能勉強会(3日間)開催
- ② 2008年9月～2008年末 : チェックリスト作成
- ③ 2008年末 ~ : 本チェックリストを使い、Bグループメンバーが監査法人の依頼を受けSAP ERP導入企業の全般統制監査(予備監査)を実施
- ④ 2009年1月～ : ③の結果を踏まえチェックリストを改善
- ⑤ チェックリスト等成果物公開: 時期は、今年度中(日程は未定)

3. 成果物

- 昨年度の活動成果物として次の資料を作成した
 - － SAP ERP システムにおける監査上の留意点（解説書）
 - － SAP ERP システム全般統制監査手順（手順書およびフロー）
 - － チェックリスト

- 後藤 知久 会員が上記成果物をベースに、某監査法人の依頼に基づき、SAP ERPシステム導入企業の全般統制予備監査を実行した。
 - － 後藤 会員のご好意により 上記作業で作成した「報告書テンプレート」も公開

3. 1-1 成果物1

■ 解説書「SAP ERPシステムにおける監査上の留意点」

SAP ERPに馴染みのない監査人向けに、SAP ERPの監査上の留意点を整理した。

- システムアーキテクチャ
- システムに組み込まれている統制機能
- システムに組み込まれている監査支援機能
- 監査上の留意点
- チェックリストの説明

3. 1-2 成果物1のイメージ

解説書「SAP ERPシステムにおける監査上の留意点」

目次

- 1 報告書の目的、位置付け、スコープ
- 2 IT 全知能開発点から見たSAP ERPの特徴
- 3 SAP ERP IT 全知能開発点の概要
 - 3.1 本運用環境の監査
 - 3.1.1 本運用環境の監査手帳(フローチャート)が良いのでは?
 - 3.1.2 チェックリスト
 - 3.2 開発環境の監査
 - 3.2.1 開発環境の監査手帳
 - 3.2.2 チェックリスト
 - 3.3 アクセスコントロールの監査
 - 3.3.1 アクセスコントロールの監査手帳
 - 3.3.2 チェックリスト
 - 3.4 運用の監査
 - 3.4.1 運用の監査手帳
 - 3.4.2 チェックリスト

1 報告書の目的、位置付け、スコープ

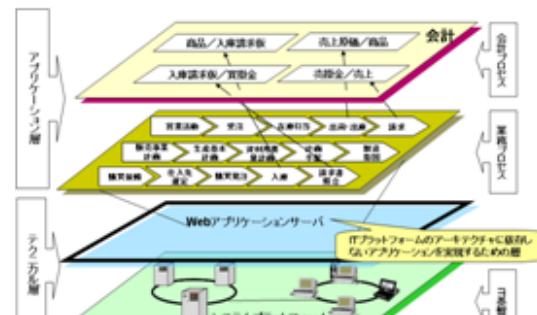
2008年度、会計システム専門監査人部会グループは、SAP ERPシステムに構築されている全知能開発点を研究した。其の成果物として、ここで紹介するSAP ERP(ECC 6.0)システムに特化した「全知能開発点 チェックリスト」を作成した。

本報告書の目的は、其の成果を公開し、システム監査学会員がSAP ERPシステムのITOC監査を行う際の参考資料として活用できるようにすることである。従って、本報告書の対象はIT、アプリケーションシステム、監査手帳などに精通している者を対象とし、SAP ERPに特化した内容とした。

2 IT 全知能開発点から見たSAP ERPの特徴

SAP ERPシステムは、SAP固有の「Web アプリケーションサーバ」(古いリリースでは「ベースス」)と呼ばれるミドルウェア上で動作している。(図2-1)

図2-1 SAP ERPシステムの構成



3. 2-1 成果物2

■ チェックリスト

SAP ERPに特化した下記4種類のチェックリストを作成した。

- 本稼動環境チェックリスト
- アクセスコントロールチェックリスト
- 開発・保守チェックリスト
- 運用チェックリスト

3. 2-1 成果物2

－ チェックリストの特徴

- － 対象範囲をSAP ERPシステム固有の統制に絞り込んだ(システム監査に精通した方を対象とするので、システム一般に関する事内容は冗長と判断した)
- － 統制の整備、運用状況を Yes/Noではなく、成熟レベルで評価できるようにした。(SAP ERP固有の文書化項目、教育・周知徹底、モニタリング状況をチェック項目に含めた)
- － 具体的な監査方法を示した(監査証跡の確認を行うためのトランザクションコード(=SAP システムの機能コード)等の記載を行った)
- － チェック項目毎の重要度を示した。A(必須項目)、B(A項目の結果に基づき判断)、C(参考項目)示した

3. 2-2 成果物2のイメージ

No	分類	区分	チェック内容	関係するリスク、緩和・軽減方法等	監査手順、確認方法	L	評価
1.	開発・保守に関する現状把握	レポートリポオブジェクトを開発・保守できる可能性のあるユーザの確認	各システムに何人のプログラマが登録されていますか 開発システム： 品質保証システム： 本稼働システム： 本稼働システムにプログラマが登録されている場合、その存在を合理的に説明できますか	(解説1) SAP システムでは、プログラムやテーブル等(レポートリポオブジェクト)の追加・変更を厳しくコントロールするため、レポートリポオブジェクトを追加・変更できる条件として、次の2点を必須にしている。 ① そのユーザIDが開発・保守権限を保有 ② そのユーザIDに該当するプログラマキーを取得し、該当システムに登録されている プログラマキーは、SAP サービスポータルにログオンし、該当ユーザIDに該当するプログラマキーを取得する。 従って、プログラマキーの取得権限(=SAP サービスポータルにログオンし、プログラマキーを取得する手続の実行権限)を厳重に管理しなければならない。 (解説2) 開発システム以外(=品質保証テスト機、本稼働機)にプログラムが登録されている場合、特に本稼働システムに登録されている場合、リスク管理体制の不備が疑われる	<ul style="list-style-type: none"> 監査対象システム上にプログラムやテーブル等(レポートリポオブジェクト)の追加・変更が可能なユーザIDが登録されていないか確認し、監査の方針を決める。 (確認手順)登録されているプログラマ数をチェックする：ランドスケープを構成する各システム上で、トランザクション SE17 > テーブル名 DEVACCESS > 項目 Char20 に S > 実行 登録されているプログラムをサンプリングして「プログラム登録申請書」などと照合し、該当プログラマの正当性、完全性、正確性、維持継続性をチェックする。 開発システム以外にプログラマが増加した場合、その理由を確認し、開発させて許容する。 	A	
2.	開発・保守されたレポートリポオブジェクトの確認	本稼働システムにはアドオン(追加開発)したレポートリポオブジェクトは幾つありますか トランザクション ・ アドオントランザクションには権限オブジェクトが割当てられていますか いい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> プログラム アドオンプログラムには権限チェックが施されていますか いい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> 大量のアドオンはリスクを高める、アドオンは必要最小限に抑える規定とそれを実行する手順・体制が確立されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 監査対象期間中に監査対象システム上で、幾つものレポートリポオブジェクトの追加・変更が行われたか確認し、監査方針を決める。 (確認手順)トランザクション SE15 > オブジェクトの種類を選択 > 全選択 > オブジェクト名 Z*, Y* > 変更日付 From To を指定 > 実行 上記で確認したアドオンオブジェクトをサンプリングし、「機能配置申請書」、「開発仕様書」、「テスト仕様書」、「テスト結果」などと照合し、該当オブジェクトの正当性、完全性、正確性をチェックする。 アドオンされたトランザクションの末尾に権限オブジェクトが指定されているかサンプリングテストす 	A		

重要度

<監査方法>
・具体的な方法を例示

リスク、緩和方法

<チェック内容>
・文書チェック
・教育、周知徹底チェック
・モニタリング状況チェック

3.3 成果物3

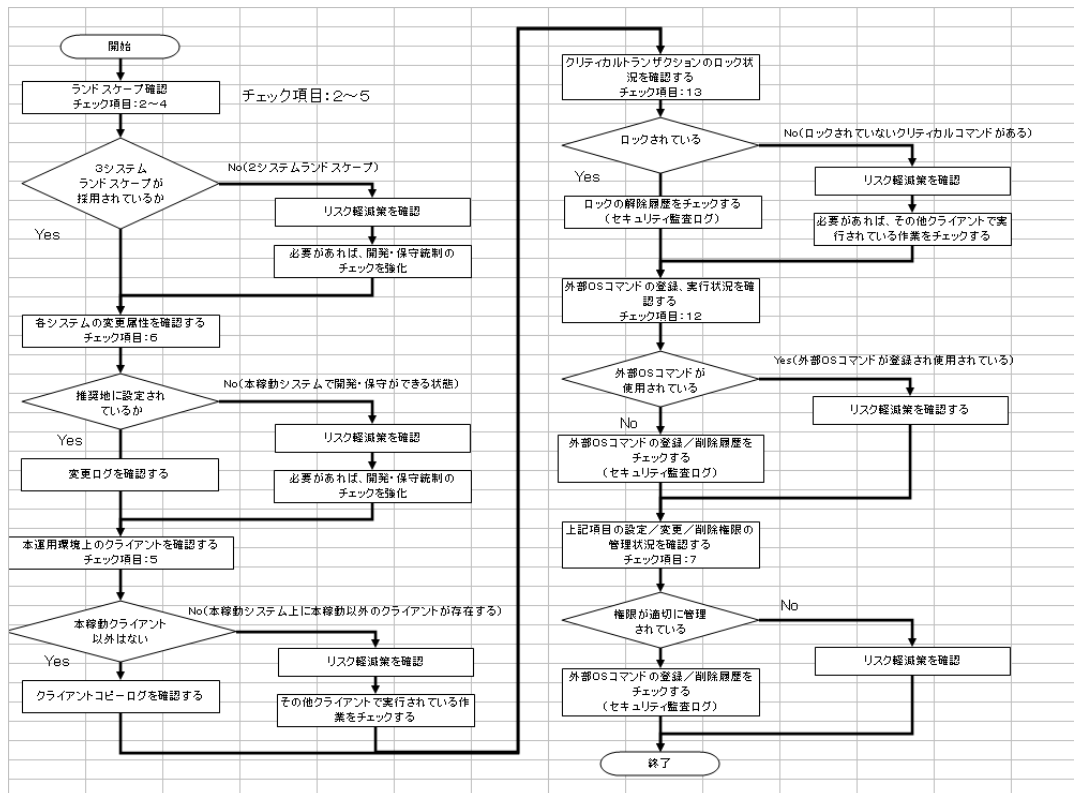
■ システム全般統制監査手順(手順書およびフロー)

「チェックリスト」の利用方法を具体的に示すため、

- 手順書
- フローチャート

を作成した

3.2 成果物3のイメージ



3.4 成果物4

監査報告書フォーマット

このページは、報告発表時の公開

4. 成果物の公開

- 学会のホームページ上で公開し、SAP ERP全般統制監査で活用できるようにする。
- 学会主催の定例会等で説明会を開催予定。

5. 今年度の研究課題

- 今年度は、SAP ERPに特化した、業務処理統制の研究を行う。
 - 夏場(8/13～15)にSAP ERP アプリケーションおよび統制機能の研究会を開催
 - それを受け、チェックリストを作成

会計システム専門監査人部会活動報告

ご清聴ありがとうございました。